

徳島県シルバー大学校

◆地域福祉向上に役立ちたいと

528人が入学 最高齢者は83歳男性

徳島県シルバー大学校37期生の入学式が6月8日、あわぎんホール（徳島市藍場町）で行われました。

ことしの入学生は総数528人（女性325人、男性203人）。最高齢者は83歳男性です。

校長の飯泉嘉門知事が、県内9校の代表者に入学許可証を手渡した後、「大学校での学習を通じ、これまでの知識や経験にさらに磨きをかけ、卒業後は生涯現役『アクティブシニア』として活躍ください」などと式辞を述べました。

その後、徳島県議会・木南征美議長、徳島県老人クラブ連合会・伊丹一夫会長、徳島県シルバー大学徳島校OB会・秦康夫会長の皆さんから祝辞がありました。最後に入学生代表の榮村輝

男さん（83）が「常に社会の一員としての自覚

を忘れず、自助はもとより互助の精神で共に学び、卒業後は地域福祉の向上に役立てるよう努力したい」と、決意を述べました。



飯泉嘉門校長から入学許可証を受け取る入学生

また、式典終了後は（公財）徳島経済研究所専務理事の田村耕一さんによる「徳島の観光ビジネス活性化に向けて」と題した記念講演が行われ、入学生の皆さんは熱心に聞き入っていました。



記念講演をする田村耕一さん

決意を述べる入学生代表の榮村輝男さん

◆短期で学ぶ

「地域貢献デビュー講座」

徳島県シルバー大学校は地域貢献活動を実践できる人材の養成と活動的なシニアの地域貢献デビューを後押ししようとして、新たに短期間で学べる「地域貢献デビュー講座」を開設しました。

今年度開催したのは子育て支援講座と介護講座の2講座で、定員は各20名。「子育て支援講座」は、7月初旬の6日間、徳島市内の徳島県立総合福祉センターと子育てはっとスペースすきっぷで開催し、子育て支援活動に必要な小児看護の基礎知識や心の発達、子どもの栄養と食生活、子どもの遊びや世話などの専門基礎知識を学びました。

また、「介護講座」は7月末から8月中旬の5日間、徳島県介護実習・普及センター等で開催。介護や介護保険サービスの基礎を学び、福祉機器や介護ロボット使